

ばい煙発生施設 ~~(揮発性有機化合物排出施設、一般粉じん発生施設、  
特定粉じん発生施設、水銀排出施設)~~ 使用廃止届出書

年 月 日

沼津市長 ○○ ○○ 様

〒410-8601

フリガナ ~~ヌマヅシミュニキチョウ~~  
住 所 沼津市御幸町16番1号  
届出者 株式会社 ○○事業所  
フリガナ ~~ダイヒョウトリシマリヤク~~  
氏 名 代表取締役 ○○ ○○

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名 〕

ばい煙発生施設 ~~(揮発性有機化合物排出施設、一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設、水銀排出施設)~~ の使用を廃止したので、

〔 ~~大気汚染防止法第11条 (第17条の13第2項、第18条の13第2項及び第18条の31第2項において準用する場合を含む。)~~  
~~静岡県生活環境の保全等に関する条例第18条 (第30条において準用する場合を含む。)~~ 〕

の規定により、次のとおり届け出ます。

フリガナ			
工場又は事業場の名称	株式会社 ○○事業所	※ 整理番号	
フリガナ			
工場又は事業場の所在地	沼津市○○町○○番○○号	※ 受理年月日	年 月 日
施設の種別	1. ボイラー	※ 施設番号	
施設の設置場所	別図のとおり		
使用廃止の年月日	平成○○年 ○月 ○日	※ 備考	
使用廃止の理由	老朽化のため		

- 備考 1 ※印の欄には記載しないこと。  
2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること  
3 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

ばい煙発生施設（揮発性有機化合物排出施設、一般粉じん発生施設、  
特定粉じん発生施設、水銀排出施設）の構造及び処理の方法

工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー	
名称及び型式		〇〇社製ボイラー ABC100	
設置年月日		平成〇〇年 〇月 〇日	年 月 日
規	ば	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	27
		燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)	37
		原料の処理能力 (t/h)	
		火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )	
		変圧器の定格容量 (KVA)	
		い	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )		
	電流容量 (KA)		
	ポンプの能力 (KW)		
	合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)		
	模	揮発性有機化合物	送風機の送風能力 (m <sup>3</sup> /h)
排風機の排風能力 (m <sup>3</sup> /h)			
揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m <sup>2</sup> )			
容量 (kl)			
一般粉じん・特定粉じん		原料の処理能力 (t/日)	
		面積 (m <sup>2</sup> )	
		ベルト幅 (cm) 又はバケット内容量 (m <sup>3</sup> )	
		原動機の定格出力 (kW)	

規 模	水	伝熱面積 ( $m^2$ )		
		燃料の燃焼能力 (重油換算 $l/h$ )		
		原料の処理能力 ( $t/h$ )		
		火格子面積又は 羽口面断面積 ( $m^2$ )		
	銀	変圧器の定格容量 ( $KVA$ )		
		触媒に付着する炭素の 燃焼能力 ( $kg/h$ )		
		焼却能力 ( $kg/h$ )		
ばい煙・VOC・水銀処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号煙突		
排出口の実高さ及び 内径 $H_o \times D$ (m)		$8.55 \times 0.35 \phi$		
特定粉じんを処理し、又は特定粉 じんの飛散を防止するための施設 の名称				

備考 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1、別表第2及び別表第2の2の中欄に掲げる施設であつて同表下欄に該当するもの並びに静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第1及び別表第3の中欄に掲げる施設であつて右欄に該当するものを記載すること。